

「令和元年度第1回図書館協議会」議事録

日時 令和元年8月2日（金）10：30～12：00

場所 鹿児島市立図書館 AVホール

出席 7名／10名中

事務局 （図書館）館長以下6名

〈議事概要〉

1～3 委嘱状の交付 図書館長あいさつ

4議事(1) 会長副会長の選出について

会長については、鹿児島純心女子大学古閑教授へ、副会長は鹿児島大学久保田准教授へお願いします。

議事(2) 平成30年度事業報告及び決算について

事務局説明

議事(3)令和元年度事業計画及び予算

(委員)

赤ちゃんのためのおはなし会はたくさんあるが、その延長上の幼児のためのおはなし会など、利用者の声に応えたのは良かったと思う。子どもが一人で本を読むようになるまで、継続的な大人のきめこまかな活動が大事である。

最近こちらの市立図書館をあまり利用していないところであるが、久しぶりに来たらパネルや企画コーナーも工夫されていた。新聞に「図書館は涼しい」との投稿があった。「涼しいですよ」と、もっと広報したら利用者が増えると思う。

議事(4)① 平成30年度図書館事業計画の実施状況及び令和元年度事業計画について

(会長)

令和元年度の事業計画について説明されたが、様々な試みがなされており、各委員のご意見をたまわりたい。

(委員)

この前、子ども向け「としょかんつうしん」を読んだ。子どもに読んでもらえるから、良かったと思う。

計画などを聞いて、時代のニーズをとらえながら、いろいろな方面にアンテナを張って取り組んでいると思われた。学校教育でも、指導要領により探究型の学習が求められている。一斉学習から個別学習へ、という中で図書館での調べ方学習への支援を充実させてもらえる则有り難い。図書館に来た子どもたちが、“こういうテーマで調べたいけど、どう探したらいい？”とか“何を調べたらいいんだろう？”と尋ねてきたら、相談にのっていただいて、調べ学習へ支援を充実させてもらえる则有り難い。夏休みの自由研究もあるので、利用者増につながると思ったところである。

また、鹿児島で行われているイベントと関連づけて、行事を行っていけばよいのではないかと。去年は、生物多様性研究の全国大会があり、当校でもテレビで発表したところである。

(事務局)

調べ学習についてのレファレンスについては、司書資格のある職員が対応している。また、他課との連携も図書館もさせていただいている。

また、図書館から紹介したいのが、子どもたちだけではなく、学校の先生方が授業で使えるよう「学校図書館支援図書」を多彩に取りそろえているので活用してほしい。

また、「生物多様性の大会」は、市の他課とのコラボも当図書館もさせていただいている。今度も取り組みたい。

(委員)

チームレファレンスを作るとあり、期待している。

何を調べたいかわからない人のための、利用者向けの研修の前に、まずスタッフのレファレンスインタビューのスキル向上を行ってほしい。レファレンスとは答えを渡すわけではなく、解決の糸口を提示するという。司書と書誌情報に詳しい人は別物。図書のあり方を知って見識を高めることが必要。スタッフのスキルアップは急務。図書館はたくさんの業務があり、人を集めるのには、イベント企画も必要だが、図書館は淡々と図書を整理していくのも重要で多くのことが求められる。

郷土資料については、禁帯出となっているものが多いが、西郷さんなどの鹿児島の研究をする郷土史家が多いので、予算とスタッフと手間がかかると思うが、長期計画でデジタル化を進めてほしい。そうすれば家から閲覧ができて、コピーも家でするなどできる可能性があるのではないかと。

(事務局)

おっしゃるとおり、何より職員の資質向上が重要だと思うが、レファレンスについても8月に研修を検討している。大事なことだと認識している。

(委員)

昨年10月、文部科学省の総合政策局になり、部署編成があり、図書館、公民館と学校図書館などは地域学習課にまとまった。図書館は地域支援をする役割を担うことが明文化された。黒瀬委員の話にもあったが、連続して学びの支援をどうしていくのか、縦割りではなく、地域全体で進める方向で、横のつながりも大事にして進めていく状況になっている。レファレンスについても連携が大切、傾聴ボランティアとか教育相談的な部分ももたせてはどうか。カウンセリングのような技術を高めて何が問題か何を必要としているのか、くみ取れるようにしてほしい。

図書館員の資質向上の中で研修が組まれているが、研修報告していただけたら、どんなだったか知ることができるし、知識や経験につながっていく。

今年の行事で新聞を調べる「あの日へタイムスリップ」というのがあるが、例えば「鹿児島の50年代はこうだった」など時期を絞ってテーマ性を持たせて、(可能であれば、その当時を知る方とともに)調べものをするという企画などはどうだろうか、という感想をもった。

(委員)

オリンピック関連の図書もそろえるとかあったので、東京オリンピック2020の企画の話があった。国体もある。鹿児島ユナイテッドFCの講座もあったが、地域のスポーツを応援する（サッカーの鹿児島ユナイテッドFC、バスケのレブナイズなど）取り組みも必要。提案だが、試合を中継したりできないか。魅力アップすると思う。スポーツをする人（普段は図書館を利用しない人）も図書館に来る。

自分は天文館地区に住んでいるので、まちなか図書館は活用させてほしい。相互効果で市立図書館の本や公民館図書室の本の貸出しもできるのか。

(事務局)

郷土を盛り上げるのは、当館でも使命である。地元出身者のアスリートの本も集めたりしており、中継は、著作権とか難しい問題があるが、コラボレーションについてもいろいろな形があり、鹿児島ユナイテッドFCが試合をする会場に図書館が出向いて読み聞かせをすとか、検討しているところである。

(委員)

7、8年前に川崎の公共図書館は川崎フロンターレとタイアップして、選手のおすすめ本をしおりにしたりする試みがあった。参考にしてほしい。

(事務局)

まちなか図書館については、位置づけはまだはっきりしていない部分もあるが、市立図書館、公民館図書室、と連携する中で、利用しやすく、居心地のいい施設となるよう計画を進めてまいりたい。

議事（5）基本的運営方針の指標の進捗状況

(会長)

着実に数字は伸びている。期待できる。

(委員)

レファレンスの事で、学校に学校支援ボランティアがいるが、ミシンの使い方とか組体操など、当初は学校をお手伝いの気持ちだったが、それが、子供との交流となり、生きがいくくりという風になってきて地域貢献していた。レファレンスで何かに詳しい人、地域に埋もれている人をいかせないか。

(会長)

何かに詳しい人、地域に埋もれている人をいかせないか。検討してもいいかもしれない。

(事務局)

地域の専門家に協力いただき、レファレンスでつなぐことはそのようなことと考える。

(委員)

本当にいろいろな取り組みをしていると思う。数字に追われないでほしい。他の委員が希望するレファレンスを実現するには、経験を積んだ司書が不可欠。民間業務委託されて司書の定着が悪いようである。イギリスやアメリカの児童書の質がよいのは、30～40年務めている司書がいて、出版社がアドバイスをもらうから。スト

リーディングは、注目して下さってうれしいが、子どもたちに届くおはなしは経験も必要。図書館の児童サービスが、ボランティア頼みだけは難しい。

(会長)

いろいろ難しい問題がある。

議事(6) 前回の図書館協議会の主なご意見について

(会長)

雑誌スポンサーも27誌集まっている。いい方向だ。

(委員)

雑誌スポンサーを推進する立場だったが、本屋で本や雑誌が売れないと聞いているため、最近は、個人的には雑誌は個人で購入すればいいものなのになと思うようになってきた。市民がただで雑誌をみるために、スポンサーをそんなに努力して増やさなくてもいいのではないか。

(事務局)

雑誌スポンサーについては、令和3年度に40誌という目標をもって進めているところである。本市の場合、複本(2冊目)の購入で、スポンサーが増えることで雑誌が充実し、このことが利用者へのサービス向上につながると考えている。

(会長)

いろいろな利用の方法があるようだ。

議事(7) まちなか図書館(仮称)基本構想について

(委員)

まちなか図書館はよい。従来の静かな図書館でなく、にぎやかで人と交流するなど今までとは異なったイメージでおしゃべりができる。哲学カフェなんてものもあるが、人と好きな本を語る。そんな空間もいい。

(委員)

基本構想を実現するには、有能なコーディネーターが必要。図書館に対する意見はパブコメだけで吸い上げられるか、いろいろなところで話を聞いたりすることが必要なのでは。市民の期待の高まりがすごくて、いろいろなグループができている。

その他

(委員)

鴨池公民館が休館しているが、利用者数とかその影響はあるか。

(事務局)

直接的な把握はないが。

入館者数の統計をとる中でいろいろ出てくると思う。

リサイクルブックフェアの影響が出ると思う。

(委員)

学童保育に行くが、その書棚が貧しい。本をもっと置いてほしい、図書館で何かできないか。

(事務局)

リサイクルブックフェアを活用してほしい。

(委員)

多分、いろいろな情報（団体貸出やリサイクルブックフェアなど）を知らないのだと思う。周知してほしい。

(事務局)

周知に努める。

(委員)

子どもは大切。図書予算等、先行投資してほしい。

(委員)

児童書3～6歳向けの「はたらくくるま」の件について、市立図書館でも所有している「はたらくくるまであるが、車といいながら、戦車とかがはたらく車として掲載されている。海上自衛隊、航空自衛隊、車ではない船や戦闘機まで掲載されている。中身は見ないからだろうが、問題だ。

(会長)

いろんな立場があると思う。

(事務局)

適切に対応する。

5 会議終了